

平成 19 年度

精度管理調査報告

日本医師会/広島県医師会サーベイ

表彰制度開始以来
3年連続「最優秀施設」獲得！

当検査センターの精度管理調査につきましては、均質で精度の高い検査が維持できるよう積極的に各種外部精度管理調査に毎年参加しています。昨年度末に、日本医師会と広島県医師会が実施している精度管理調査の結果が出ましたので以下のとおりご報告いたします。

第 41 回 日本医師会臨床検査精度管理調査

平成 19 年度の調査では全国から 3,074 施設もの参加がありました。当検査センターは今回「**99.5 点**」という優秀な成績を収めることができました。

■結果 (単位:点)

年度	日本医師会
平成 19	99.5
18	99.8
17	98.3
16	98.1

第 35 回 広島県臨床検査精度管理調査

今回の調査では、県内から 157 の施設が参加しました。そのうち 2 施設が最優秀施設として、また 9 施設が優秀施設として表彰されました。

■結果 (単位:点)

年度	広島県医師会
平成 19	100.0
18	99.8
17	99.8
16	98.6

表彰状

広島市医師会
臨床検査センター 殿

貴施設は第35回広島県臨床検査精度管理調査において最も優秀な成績を収められました。よってここに表します。

平成20年2月24日

広島県医師会
会長 確井 静照

臨床検査精度管理調査委員会
委員長 神辺 眞之

今回の調査における当検査センターの成績は、**3年連続最優秀施設**として表彰状をいただくことができました(左写真)。

広島市医師会臨床検査センター 広島市民病院	最優秀施設 最優秀施設
広島赤十字・原爆病院	優秀施設
広島大学病院	優秀施設
中国中央病院	優秀施設
安佐市民病院	優秀施設
マツダ病院	優秀施設
中国労災病院	優秀施設
県立広島病院	優秀施設
広島共立病院	優秀施設
吉田総合病院	優秀施設

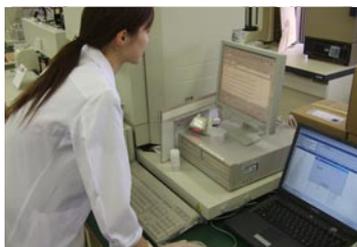
この成績に恥じることのないよう、当検査センターは精度保証体制や会員サービスのさらなる充実により、先生方に安心をお届けできる検査センターを目指し、そして先生方に選んでいただけるよう、なお一層努力をしていきます。



今日も最高の精度を求めて

～それは患者様のため～

当検査センターには8部門(生化学/免疫血清/血液一般/尿一般/病理/細胞診/細菌/先天性代謝異常)の検査室があります。その中から今回は血液一般部門にフォーカスして、日ごろの精度管理のための具体的作業工程などについてその内容を一部ご紹介いたします。



血液一般部門では、毎朝8:30にパソコンを立ち上げ、インターネット経由で機器メーカーが管理する全国検査データ集積システムに配信する準備をします。続いて2濃度(Low、High)のコントロールを測定後、上記集積システムに結果を配信し、機器および試薬に異常はないかどうか精度の確認をしています。万が一異常が発生しても、機器メーカーから即座に連絡が入り、修正に向けて細かい指示を受けられる体制をとっています(リモートコントロール)。

また、検査工程の半ばで機器の再洗浄をしてから、日常工程に組み込まれた正常検体を用いて機器間差の比較をしたのち再測定しています。

なお、末梢血液一般と血液像の検査は、一次測定後、検査センターが設定している基準により目視法(鏡検)を行っています。白血病などの血液疾患が疑われる場合は、担当医の了解を得た後、血液専門医によるアドバイスなどのレポート報告をさせていただいています。

検査機器の性能は時代とともに進歩し続け、安定したデータ測定ができるようになってきました。とはいえ、検査機器はあくまでも“人”の管理下にあります。それゆえ、検査技師としての知識や技術の向上のみならず、コミュニケーション能力も向上させ、いつでも安定かつ信頼できる検査データを先生方にお届けできるよう、これからも努力し続けたいと思います。

(文責：精度保証室室長兼検査科技師長 山崎 雅昭)